



講演中の中村先生

三月六日(火)十時より、小倉第一病院六階多目的ホールにて、第二十七回ボランティア研修会が開催されました。平日にもかかわらず、ボランティアさん、事務局を含め三十一名の参加がありました。

今回の研修会は、透析についての話と以前からボランティアさんより要望の多かった透析室の見学を行いました。

始めに、理事長あいさつがあり、その後小倉第一病院 副院長中村秀敏先生のあいさつを受けました。

最初に透析室の見学を二班に分かれて行いました。主任看護

第27回 ボランティア研修会

透析室見学

健康の大切さを実感



講師
 中村 秀敏
 副院長

プロフィール
 一九六九年生まれ
 熊本大学出身
 内科認定医 腎臓病・透析

師さんや、臨床工学技士の方が血液透析の機械、また透析の仕組みについて丁寧に説明をして下さいました。

ボランティアさんの多くの方は、実際に血液を体外に出して透析をしている光景を目の当たりにして驚きの様子でした。同時に、多くの疑問や質問がだされ、納得いく回答に皆さん理解を示されました。

透析室の見学終了後、十時半から、「腎不全と透析患者について」という題で中村秀敏副院長より講演がありました。プロジェクトを使って判りやすく話されました。最初に、小倉第一病院の歴史と外廊から始まりました。今年創立三十五周年を迎えるそうです。透析のサテラ



イト病院として、北九州市で最初に設立されました。「腎臓の働き」から、講義がはじまり、腎臓の働きが悪くなるかどうか、透析を始める時は、腎機能が5%以下に落ちた時で、透析になります。「透析になる原因」の第一位は、糖尿病性腎症、第二位は、慢性糸球体腎炎、その他高血圧、遺伝性、感染症等が続きます。近年、糖尿病から、透

析を始める時」は、腎機能が5%以下に落ちた時で、透析になります。「透析になる原因」の第一位は、糖尿病性腎症、第二位は、慢性糸球体腎炎、その他高血圧、遺伝性、感染症等が続きます。近年、糖尿病から、透

研修会に参加したボランティアさんの感想文を掲載します



析を始める時」は、腎機能が5%以下に落ちた時で、透析になります。「透析になる原因」の第一位は、糖尿病性腎症、第二位は、慢性糸球体腎炎、その他高血圧、遺伝性、感染症等が続きます。近年、糖尿病から、透

析導入をする人が増えていきます『血液透析を受ける人の特徴』としては、水分管理の問題、電解質の異常、その他様々な合併症があると具体的な例をあげて説明がありました。さらに、『透析患者さんと接する時に気をつけること』は、①健康者とはここが違うのか。②食事は果物・野菜・水分・塩分に注意すること。③介助の時はシャントや穿刺部に

気をつけること。また、「緊急時の場合」には、基本的に、救急車を呼び対応すること。送迎中に出血や体調不良の場合の対処法などの講義がありました。

最後に質疑応答があり、研修会終了後にも個別に質問をしていく方もおられました。

今回の透析室の見学については、小倉第一病院様に快くご承諾いただき実現しました事に感謝申し上げます。

研修会は、十二時過ぎに成功裏に幕を閉じました。

小倉事業所ボランティア 永瀨 寛氏

三月六日、通院介護センター「さわやか」主催のボランティア研修会に参加し、小倉第一病院の計らいで院内の透析室見学と中村秀敏副院長による講演を聴講する機会を得る事ができ、健康であることの大切さを改めて痛感させられました。中村副院長の講演内容は「腎不全と透析患者さんについて」と題し、①腎臓の役割 ②働きが悪くな

った時の症状 ③透析の開始時期 ④透析になり易い人の原因 ⑤透析患者さんの特徴と接し方 ⑥緊急(異常時)の場合の対処法、等についてプロジェクトを使用しながら、きめ細かな説明を終えた後、ボランティアの方からの多数の質問にも親切丁寧な対応で判り易く説明を受けることができました。尚、透析室内の見学の際には、スタッフの忙しい時間帯にも拘らず快く見学並びに、質問などに対応し

て頂き、お礼申し上げます。我々ボランティアとしても、患者様の送迎を安全第一に考えながら、今回の研修会を有意義なものにしていきたいと考える次第です。第一病院に携わるスタッフの皆様、企画を担当して頂いた「さわやか」スタッフの皆様さんには心より厚くお礼申し上げます。裏面に続く





表面に続き、ボランティアさんの感想文を掲載します

八幡事業所ボランティア 三阪 紘一氏

昨日の初夏を思わせる天候が、一日にして冬に逆戻り、とても寒い一日でした。



大変お忙しい中、貴重な時間をしていただきました中村秀敏副院長を始め、スタッフの皆様、患者の皆様ありがとうございました。心よりお礼申し上げます。透析患者の送迎をされているボランティアの皆さんも、透析の現場を見て驚かれたのではないのでしょうか。大きな部屋に五十台のベッドがずらりと並び、患者さんの腕から、二本の血液が通る管がダイヤライザー（腎臓の代わりをする）を媒体に血液をろ過する。盆も正月も関係なく一日おきにするのが透析治療です。患者はもちろん、医療側にとっても大変な仕事です。今日お世話になった小倉第一病院は三十五年前、九州で初の透析サテライト病院として創立され、今では日本有数の透析病院として評価されています。その一端（透析システム、スタッ

中村先生と 八幡事業所のボランティアさん



フ、院内掲示、ホームページ、ボランティア活動等々）が随所に垣間見られました。

病院見学後、腎不全と透析患者さんについて、又、緊急時の対応の仕方について説明がありました。熱心な質疑もあり、大変有意義な研修会でした。

最後になりましたが、「さわやか」創立以来、事務所を提供していただき、何かとご協力賜っております小倉第一病院 中村定敏院長に心よりお礼申し上げます。

私たちボランティアも頑張りますが、これからもよろしくお願いたします。

八幡事業所ボランティア 橋爪 勝彌氏

三月六日、寒波再襲来の寒い日、午前十時〜十二時の間小倉第一病院で『腎不全と透析患者さんについて』と題して、多数のボランティア参加の中、行われました。最初に四階の透析室に案内されたが、透析室に入った瞬間、私は目を疑った。多くの老若男女の患者さんが、ベッドに横たわれ、透析機の音が聞こえました。あ！これが透析中なんだと実感しました。一回に五時間の透析を受けられると聞き、これは、大変なことだと思いました。私が、今まで想像していたのは、テレビを見ながら、ゆったりとベッドに休んで、何かの器械で透析されている姿でした。シャントの写真などを見ると、痛々しく感じられ、改めて、自分の健康に感謝した処です。見学後、中村副院長より、詳しい説明がプロジェクトを交えながら行われ、私なりに腎不全とは・透析とは・腎臓の働きとは、等が理解できました。初期であれば、透析をせずに、他の治療法がある」と聞き、



小倉事業所ボランティア 小津和 静香氏

久しぶりの「さわやか」研修会に参加させて頂きました。送迎ボランティアにかかわって七年になりますが、今までは、ただ漠然と、透析患者さんを送迎させて頂く活動でした。今回、病気について、また、院内見学をさせて頂いて、改めて患者さん、スタッフの方々の



中村先生と
小倉事業所のボランティアさん

早期発見の為、年一回の健康診断を受診しようと思いましたが、又、送迎に携わる者としての注意点も親切に説明していただき、今後の送迎に対する心構えができました。この様な貴重な時間を作って頂いた病院の方、さわやかの方々に、厚く御礼申し上げます。

御苦労を知りました。生命の大切さ、健康であることに感謝です。

また、今後の希望として、食生活がいかに重大であるかという事も専門的にお聞きしたいと思います。

以前から気になっていた、減塩食がどんなものか、カロリー、淡味など、理屈では解っていませんが、実際に食べたことがありません。生活習慣で、糖尿病等が予防され、改善されるのであれば、現在、少子化が問われているなか、子供達の食生活に大きく関係してきます。

より多くの方に訴えて行きたいものです。

そこで、機会がありましたら、是非、減塩食を試食してみたいと思っております。ありがとうございます。

ございました。

この所、空き地や売り地が気になってしかたがありません。「あそこを掘れば、もしかして〇〇万円が・・・」と勝手に想像して楽しんでます。皆さんどこかに埋めたの、忘れていませんか？

